



月夜野ホテルを守る会が受賞報告 5/1

「第29回ぐんざん財団環境賞」の表彰式が行われ、月夜野ホテルを守る会が表彰されました。

月夜野地区の小学校での環境教育や、イベントを通じて地域活性化に取り組んでいることなど、長年にわたるホテルの保全と環境美化活動が評価され、平成21年に続き2度目の受賞となりました。

今回の表彰では、身近な自然環境や生態系などの保全と活用、持続可能な社会に向けた活動、研究、提案をテーマに県内10団体が受賞しました。



▲原会長（左）、阿部町長（右）



東京五輪メダリスト芳田さんが特別講師として指導 4/14

東京オリンピック柔道女子57kg級銅メダリストの芳田司さんを講師に招いた特別柔道教室が、みなかみ中学校で開かれました。中学校の生徒をはじめ、利根沼田地区の柔道スポーツ少年団の児童も参加し、27名が芳田さんから技の指導を受けました。

芳田さんの迫力ある技の実演では拍手や歓声があがり、メダリストから直接指導を受けたことで、柔道の魅力が一層深まる体験となりました。



▲中学生に柔道を指導する芳田さん（右）



UDCみなかみオープニングイベントを開催 5/8

今年4月に発足したまちづくりの拠点「アーバンデザインセンター（UDC）みなかみ」のオープニングセレモニーが開催され、阿部町長や永野センター長らがテープカットを行いました。

式典後にはセンターの見学会が行われ、東京大学大学院の学生やUDCメンバーによる、フィールドワークを通して作成した調査資料や、町の立体模型の説明が行われました。



▲オープニングセレモニーの様子



BMZが月夜野小学校へ寄附 5/7

インソールなどの製造販売を行う株式会社BMZ（高橋毅取締役社長）より、月夜野地区の小学校が統合し、4月に月夜野小学校として開校したことを受けて、10万円の寄付をいただきました。寄付金は、小学校とPTAで話し合い、児童の教育環境を充実させるための学用品や学校用品の購入に活用されます。



▲左から山田克代さん、中村智和さん、月夜野小学校細矢校長



人形浄瑠璃体験会と 定期公演を開催 4/19

100年以上の歴史を持つ伝統芸能「古馬牧の人形浄瑠璃」は、群馬県の重要無形民俗文化財です。この貴重な伝統文化を身近に感じていただくため、体験会と定期公演が開催されました。

当日は、お子さま連れのご家族からご年配の方々まで、幅広い年齢層のみなさんが参加しました。3人で一体の人形を操作する体験に挑戦したり、迫力ある実際の演目を鑑賞したりと、地域の伝統文化に深く親しむ機会となりました。



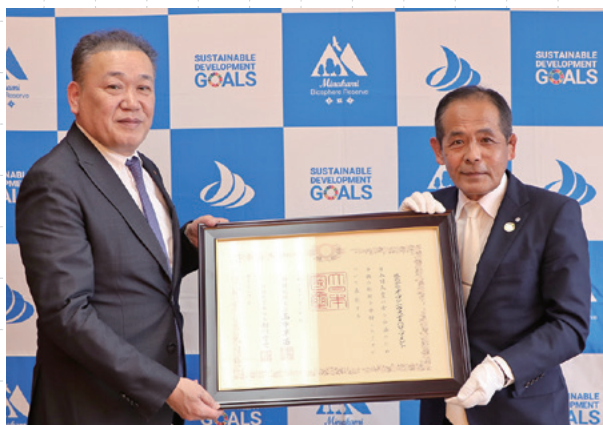
▲人形を操作する体験会



オープンハウスへ紺綬褒章を伝達 こんじゆほうしょう

4/14

紺綬褒章伝達式が行われ、株式会社オープンハウス・ディベロップメントへ阿部町長から章記が伝達されました。紺綬褒章は、国の栄典制度の1つで、公益のために私財を寄附された個人または団体に授与される褒章であり、令和4年10月、令和5年9月、令和7年3月の計3回にわたり総額5億3,000万円の寄附をされた功績に対し、天皇陛下から授与されたものです。



▲荒井取締役（左）、阿部町長（右）



湯楡曽区で防災訓練を実施 4/23

湯楡曽川が増水・氾濫したという状況を想定した湯楡曽区自主防災組織主催の「避難訓練」と「炊き出し訓練」が実施されました。参加者のみなさんは、安全確保から避難開始までの一連の段階を確認しながら避難を完了させました。その後の炊き出し訓練では、災害備蓄品の食料を調理し、一緒に試食しました。

参加された方々からは、「いざという時のイメージがつかめた」などの声が多く聞かれ、非常に有意義な体験となったようです。



▲炊き出し訓練



月夜野総合体育館からお知らせ 4/1

4/1

4月1日より、月夜野総合体育館の指定管理者が「特定非営利活動法人水上自然遊楽」となりました。新たな運営体制のもと、町民のみなさんのスポーツ振興と住民相互の交流・親睦が深まる、親しまれる体育館を目指してまいります。なお、施設に関する情報やお知らせは、Instagramにて随時発信していきます。



TSUKIYONOSOUGOU



▲指定管理者となった水上自然遊楽



みなかみ3ダム 春の点検大放流 2026 5/16～5/17

毎年5月に藤原ダム・奈良俣ダム・矢木沢ダムで行われる「春の点検大放流」が今年で7回目の開催を迎えました。両日ともに天候に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



奈良俣ダム 5/16

ダムの女王と称される
壮大なロックフィルダム



藤原ダム 5/16

日本最大級のホロージェットバルブからの放流



矢木沢ダム 5/17

水しぶきを間近で
体感する来場者

今こそあらためて

みなかみユネスコエコパーク について語ろう Vol.1



6月14日、ユネスコエコパーク
登録から9周年を迎えます。

photo by Kodai Sagawa

Q ユネスコエコパークって
何ですか？

A 自然を守りながら、その恵みを利用して人と自然が仲良く豊かに暮らす地域のこと。みなかみ町は2017年に「ユネスコ」に登録されたんだ。

Q 私たちの暮らしに
どんな関わりがあるの？

A この地域の自然を生き、守りながら共生する私たちの暮らしや営みそのものが、まさに「ユネスコエコパーク」の取り組みです。もっともっと町のことを知って、すきになってもらいたいな。

6月のユネスコエコパークに関する
主なイベント

- 6月13日(土)～14日(日)
木育キャラバンinみなかみ町
- 6月27日(土)
赤谷の森自然散策(夏)



地域おこし協力隊の活動

一般社団法人みなかみ町体験旅行 渡部 慎也 さん

昨年5月よりみなかみ町地域おこし協力隊として活動している渡部慎也と申します。茨城県出身でじゃがいもが大好きです。これまでは里山の活用として体験プログラムの企画や地域イベントの運営を行っていました。その経験を活かし、現在は一般社団法人みなかみ町体験旅行にて着地型観光プログラムの企画・運営、みなかみ町SDGs推進協議会の事務局を務めています。

この1年間を振り返ると、多くの方々との出会いに恵まれた時間だったと感じています。「こんな面白い人がいるんだ」と驚くことも多く、地域にはさまざまな想いをもって活動をされている魅力的な方々がたくさんいることを実感しました。そうした方々と関わりながら企画や体験プログラムに取り組む中で、自分自身も多くの学びと気づきを得ました。活動を通して感じたのは、人とのつながりが地域の魅力をより深めているということです。

これからは、これまでの出会いや経験を活かしながら、地域の方々とともに新たな価値を生み出せるよう取り組んでまいります。みなかみ町の魅力を多くの人に届け、関わる人の輪が広がるよう、今後も挑戦を続けていきます。街中で見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください！



▲渡部 慎也さん



▲「持続可能なごみ拾いとは」をテーマにみなかみ町で都会の学生さんと地域住民と一緒にゴミ拾いをした様子

まちづくり協議会だより

第83号

問 まちづくり協議会事務局（企画課）

☎ 0278（62）2280

藤原地区 桜・花桃植栽地の整備事業 ～地域の会員で守る美しい春の景色～

冬の寒さが厳しい藤原地区は、春の訪れもやはり遅く感じられます。

とはいえ今年は、例年より10日ほど早く季節が進んでいるように実感しています。利根川沿いには、10年以上前にまちづくり協議会で植樹した桜があり、現在では見事に咲き誇っています。ソメイヨシノに続き、4月下旬には八重桜も満開を迎えました。



遊歩道は約2kmにわたって整備されており、まちづくり協議会で設置したベンチが各所に配置されています。

観光客や地元の人々の散策道として親しまれているこの場所は、観光資源としても大切だと感じており、年間を通じて清掃作業を行い、景観の維持管理に努めています。

まちづくり協議会水上支部
鹿野沢地区 小林 行治

昨年
大好評につき
開催決定

講演会

全国で大人気！課題解決に向けたヒントを学ぼう

「これからの地域づくりを考える」



みなかみ町が誕生して21年目を迎えましたが、現在の人口は約16,500人。合併時の人口と比べると、約7割に減少しています。さらに、2050年には8,000人になると推計されています。

地域コミュニティにおいては、地域役員の高齢化や人材不足、イベントの縮小など、人口減少により、ますます地域コミュニティ組織の運営が困難になります。

複雑化する地域課題の解決に向けて「これからの地域づくり」をテーマに講演会を開催します。

講師 櫻井 常矢氏



高崎経済大学 地域政策学部 教授
(主な社会活動)
総務省 地域力創造アドバイザー
全国各地の地域づくり政策アドバイザーなど

〈第1回〉

6月26日(金)
18:30~20:30 (18:00開場)

〈第2回〉

7月4日(土)
10:00~12:00 (9:30開場)

※両日とも内容は同じです
※申し込みは不要です

開催場所

みなかみ町カルチャーセンター
ホール

昨年まちづくり協議会で開催した勉強会の様子



お問い合わせ先 企画課 企画調整係 ☎ 0278-25-5001